

## 第一種 型式認証から始まる「レベル4」飛行



第一種型式認証申請機E600-100は「カテゴリ-3」運航の承認を得ることで、『レベル4』飛行が可能となり、物流ドローンの事業化を見越した本格的な物資輸送利用が見込まれます。

本機種では、将来の本格的な社会実装に適応可能な、高い安全性能の実現を目指しており、最大で5kgの物資輸送能力を有した設計を進めています。機体にはカーボン素材を使用し軽量かつ高い剛性を持つ構造、各種システムは安全性の向上を目指した設計で、人や人家の上空を、多少の天候変化に左右されることなく、安全に荷物を運搬することができるコンセプトの下、開発を進めています。

### 数々の実証実験の先に

2025年佐川急便株式会社様と進めるドローン物流実用化用の機体で、第三者上空飛行を可能とする『レベル4』により、過疎地、離島での生活利便性向上と持続可能な配送スキーム構築を目指します。航空法改正により社会実装がいつそう進むドローンにおいて、より社会的ニーズが高いのが物流と考えます。



物流業界では働き方改革関連法により運転者の労働環境は改善されますが、運送能力が不足する「2024年問題」があります。

現状の輸送手段だけでは、山間部や過疎地の物流サービスの品質維持が困難になりかねません。ドローンを新しい物流手段にすることで、物流課題解決へ貢献したいと考えております。

